

保護者の皆様へ

愛西市立佐屋小学校長
吉次章浩

学校アンケートの結果のお知らせ

早春の候、保護者の皆様には、日々、学校教育に御理解と御協力をいただきましてありがとうございます。昨年来、新型コロナウイルス感染症拡大による社会情勢の中で、従来のような教育活動が難しくなり、命を優先しつつ、これまでの学校生活とは、一変した新しい学校生活様式が求められました。その中で学校アンケートに御協力いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

多岐にわたり、たくさんの御意見をいただきました。次年度からの佐屋小学校の指針として参りたいと存じます。

1 学校アンケート結果（3年間の推移）

4段階評価

教育計画・指導		R 1	R 2	R 3
1	学校は、読み・書き・計算などの基礎学力定着のため、きめ細かい指導を行っている。	3.10	↘3.06	↗3.09
2	学校は、一人一人を大切にした授業を行っている。	2.98	↘2.90	↗3.01
3	学校は、楽しくわかりやすい授業を行っている。	3.06	↘3.00	↗3.12
4	学校は、ICT機器の使用によって、学習効果を高めている。 ※ICT機器…コンピュータ、プロジェクター、実物投影機、インターネット、デジタルカメラ等		2.92	↗3.21
5	学校は、子どもの良さや努力したことなどを認めている。	3.21	↘3.15	↗3.23
6	学校は、「生きる力を育む」というねらいをもって、指導している。	2.94	→2.94	↘2.91
7	学校は、外国語・外国語活動や情報教育を、ねらいをもって効果的に行っている。	2.87	↘2.83	↗2.84
8	学校は、コロナ禍の中で活動内容の充実した行事を計画し、しっかりと運営している。	3.19	↘3.06	↗3.19

学校経営		R 1	R 2	R 3
9	学校は、児童の不適切な言動に対し、きちんと指導している。	2.90	↘2.85	↗2.92
10	学校は、困ったことや悩みなどを理解し、誠実に対応している。	2.99	↘2.94	↗2.99
11	学校は、いじめの早期発見・再発防止に力を入れている。	2.89	↘2.83	↗2.91
12	学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も含め子どもたちが、安全に安心して過ごすことができるようにしている。	3.15	↗3.20	↗3.23
13	学校の施設・設備は、きちんと整っている。	2.98	↘2.88	↗2.95
14	学校は、教育活動の様子や情報を保護者にきちんと伝えている。	3.11	↘3.00	↗3.05
15	学校は、「開かれた学校」に向けて努力し、保護者・地域の願いに込めている。	3.36	↘2.96	↘2.95

子どもたちの育ち		R 1	R 2	R 3
16	子どもたちは、いろいろなことに意欲的に取り組んでいる。	3.13	↘3.08	↗3.15
17	子どもたちは、楽しく学校に通っている。	3.35	↘3.29	↗3.34
18	子どもたちは、きちんとあいさつをする。	2.86	↗2.87	↗2.94
19	子どもたちは、交通ルールをきちんと守っている。	2.90	↗2.94	→2.94
20	子どもたちは、ていねいな言葉遣いをしている。	2.54	↗2.55	↘2.51

合計	R 1	R 2	R 3
	3.04	↘2.96	↗3.03

回答数405 回答率92.0% (昨年度回答数420 回答率95.7%)

- ➡ 本年度の評価項目も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関わる内容を取り入れました。
- ➡ 本年度の評価は、昨年度と比べ17項目で高い評価となり2項目で低い評価となりました。
- ➡ 全体的に昨年度よりも評価が高くなりました。その要員として考えられることは、新型コロナウイルス感染症の影響がある中でも、タブレットの導入と活用、学習活動の維持、子どもたちが楽しそうに過ごす様子などを、保護者の皆様が感じておられるのではないかと考えられます。タブレットの導入と新型コロナウイルス感染症の影響により、子ども同士の直接的対話を通じた学びの深め合いよりも、タブレットを活用して意見を活発に交流することができるようになりました。それ以外にも、画像を活用して理解を助けたり、インターネットから必要な情報を簡単に取り入れたりして、今まで以上に楽しく、意欲的に学習できる授業になりつつあると考えられます。タブレット導入元年として、試行錯誤を重ねながら、いかに子どもたちの学習活動に効果的な活用ができるかと挑戦してきましたが、まだまだ始まったばかりですので、今後もこれまで以上により効果的な活用ができるよう取り組んでいきます。

2 保護者の皆様の主な声

1 学習指導について

- 一人一人の個性を大切によさをのばしてほしいです。
 - ➡ 子どもたちの興味関心、得手不得手など、十人十色で個性が違います。学校として、それらを認め、よいところ、得意なところを伸ばしていくことをめざして取り組んでいます。また、考えを表現するような一人一人の個性を発揮する学習もあれば、漢字や計算のように、全体が統一的に知識や技能を習得する学習もあります。どちらも大切な学習です。学校では、子どもたちの可能性が伸ばせるよう指導してまいりますので、ご家庭でも、ご理解ご協力お願いします。
- 地域、年齢に関わらず幅広い人との交流ができる場が増えるとうよいと思います。
 - ➡ 1年生「昔の遊びを教わる会」、2年生「まちたんけん」、3年生「町たんけん」「三世代座談会」、3年生以上「福祉実践教室」、全校「地域清掃」、「校外学習」など、地域や教員以外の方々と学習する機会を設定しています。地域での学習を通して、子どもたちが地域との接点を持ち、お世話をいただいたことなどから、地域を愛する心や感謝の気持ちを膨らませることを期待しています。学習指導要領にも、地域や地域の人々との学習を進めるよう記されています。今後とも、地域とのつながりを重視して学習活動を行ってまいりますので、ご理解ご協力お願いします。また、学校だけでは気付かない地域や地域の人々のよい学習内容等をご存知でしたら、アドバイスいただくと、さらにより学習につながりますので、よろしくお願いします。
- タブレットを持ち帰ると、週末さわりっぱなしになってしまうので月1回程度ならよいと思います。持ち帰りは、破損などの心配があるので、できれば学校のみでの使用を希望します。
 - ➡ 本年度から、タブレットが導入されました。学校での使用も試行錯誤です。そして、家庭での使用も試験的に取り組んできました。子どもたちの多くは、タブレットの使用に関心が高く、学習に効果が出ていることは明らかです。今後、子どもたちが、より意欲的に学習に取り組めるよう、より学習効果が高まるよう、そして、破損などが少なく安全に使用できるよう、研究を重ねていきます。その中で、タブレットの使用がご家庭でも増えていくこともあり得ます。確かにタブレットは、ゲーム的な使用もありますので、タブレットばかりさわってしまうことも考えられます。それらの対応も、今後、取り組んでいかなければなりません。より効果的な学習に活用できるよう、ご協力お願いします。

2 日常指導について

- いじめを減らすためにアンケートの回数を増やすべきだと、強く感じます。
 - ➡ 年間3回の生活アンケートと教育相談、2回のQ Uアンケートを行っています。アンケートをもとに教育相談を行い子どもたちの様子をより内面的な面まで把握するように努めています。しかし、子どもたちの心は一瞬にして変わることもあります。よりタイムリーで敏感に子どもたちの心の状態を把握して、安心して学校生活を送れるよう、よりよい実施方法に努めていきます。ご家庭でも、お気づきのことがありましたら、学校への情報提供にご協力くださいますようお願いいたします。
- 手洗いをしない人が多くいるようです。
 - ➡ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のできる手立てを行ってきました。3限前と5限前に手洗いを奨励するために「あわあわゴッシー」の歌を流して、手洗いを促しています。まん延防止等重点措置や緊急事態宣言の長期化、感染症の症状の軽症化などにより、危機感の薄れがあるように感じます。学校では、危機感の薄れに流されないように、子どもたちに手洗いを呼びかけていきます。ご家庭でも、子どもたちだけでなく、ご家族にも発熱や喉の痛みなど、風邪症状がある場合、登校を控えていただきますようお願いいたします。

3 登下校・地域生活について

- 地域の人があいさつしても、あいさつをしない子が多いように感じます。
 - ➡ 毎年、保護者からの学校アンケートに何件か同じようなご意見をいただきます。また、学校アンケート最後の「丁寧な言葉遣い」においても、毎年、一番低い点数となっています。学校は、社会に出る前の準備期間です。社会人として、地域の一員として、子どもたちのあいさつや言葉遣いに対しても引き続き指導していきます。そして、地域の方々へあいさつをして、つながりをもつことは、子どもたちの安全にもつながると思います。PTAのあいさつ運動をはじめ、ご家庭でも引き続き、ご指導よろしくお願いします。
- 登下校時、荷物が多く重い物を持ち歩くため、荷物を学校に置かせてほしいです。
 - ➡ 学校では、金棒プールのロッカーを子どもたち一人一人に割り当て、家庭での学習に使わないものは置いていってもよいことになっています。子どもたちが、どれを置いておくか自身で判断することは難しいところかもしれませんが、上手に使えるよう指導していきます。ただ、宿題など、家庭学習に必要なものは必ず持ち帰って、学習に取り組んでもらいます。また、ランドセルは後ろに転んだ時に後頭部や背中をしっかり守ってくれるようつくられています。教科書類が入ることで安全性が高まるそうです。利点のバランスをとり、無理な負担のない使用を勧めていきます。

3 今後の取組について

学校アンケートにたくさんのご意見をいただきありがとうございました。すべてのご意見にお答えするのが本意ではございますが、紙面の関係上、主なものに限らせていただきました。皆様のご意見をよりよい学校運営に向けて参考にさせていただきます。また、お気づきの点やお問い合わせ等ございましたら、ご遠慮なくお知らせください。今後とも、子どもたちのために、使命感をもって、精一杯努力してまいります。ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

